

法人(事業所)理念		一人ひとりの生きるチカラを最大に。「社会から愛される子どもたち」への成長が私たちの願いです。		
支援方針		将来的な就労を目指して、パソコン学習教材を活用した学習支援を行っています。学習時間に学校の宿題に取り組み、学習面での躓きを解消します。生活スキルを高めるためのSSTを取り入れています。SSTの教材は全て手作りです。また視覚認知トレーニングを毎日の課題の中に導入し、黒板を板書する力、文章を読み取るチカラへつなげています。様々な活動を通して生きていく上で大切なスキルを身につけられるように支援しています。		
営業時間		12:00~18:30	送迎実施の有無	葛城市内のみ対応しています。
支援内容				
本人 支援	健康・生活	来所時の検温や手洗い、うがい等の健康管理や体調の把握に努めています。毎日の過ごし方ではスケジュールを自分で管理し、長期休みではスケジュールをタブレットを使い作成し、時間の過ごし方の工夫を考えてできるように支援し、食事や買い物、お金の計算等の日常生活でできることを増やし、身辺自立や生活習慣の形成に向けて取り組んでいきます。		
	運動・感覚	長期休みの活動では体力測定をし、体育館を借りサーキットトレーニングやコーディネーショントレーニング、雑巾を縫うなど微細運動課題など遊びを通して、運動能力や感覚統合に向けた活動に取り組んでいきます。		
	認知・行動	ビジョントレーニング、ワーキングメモリ課題、ABA（応用行動分析学）の対応にて認知機能の向上、また適切な認知、行動の獲得に向けて取り組んでいます。また、ICT教材「すらら」を使った学習習慣、学力の定着にもチカラを入れ取り組みます。		
	言語 コミュニケーション	SSTの手作り教材を使い、状況理解、参照する力など養い、言語獲得に向けて取り組みます。また学習では「すらら」を使い文章や言葉の理解を深め、文章や言葉で返す言語コミュニケーションスキルをつけ、日常の活動にて合わせる、参照、模倣する、共感するなど非言語的コミュニケーションスキルの向上に向けても取り組んでいきます。		
	人間関係 社会性	長期休みを利用し公共交通機関を利用し、地域の図書館や公園、公共施設等へ出かけ、社会でのルールやマナーの理解が高まるよう取り組んでいきます。また、活動の中では、挨拶、返事、片づけのしつけの三原則や発表など共通のルールある枠組みの中で状況を判断して協力する、手伝う、取り組むなど人間関係の構築や社会性の向上に向けても取り組みます。		
家族支援		子どもの発達上の課題について気づきを促し家族と連携して支援します。	移行支援	他関係機関と連携をはかり、支援体制の構築します。
地域支援・地域連携		学校、福祉サービス等と連携をとったり連携会議等を行い情報を共有しています。	職員の質の 向上	外部研修を年に2回行い、子どもの特性に応じた対応をカンファレンスしています。
主な行事等		毎月テーマを決め、毎日違う課題に取り組んでいます。（通信にて配布）体力測定・お花見・遠足・防災研修・工作・漢字検定等季節やイベントなどに合わせた文化にふれられるような行事を長期休みは毎日実施する。年二回保護者様向け研修実施。		